



## 中国軍東部戦区の対台湾演習「聯合利剣-2024A」 —海警船の参加状況を中心に—

防衛戦略研究室 防衛事務官 千綿 るり子

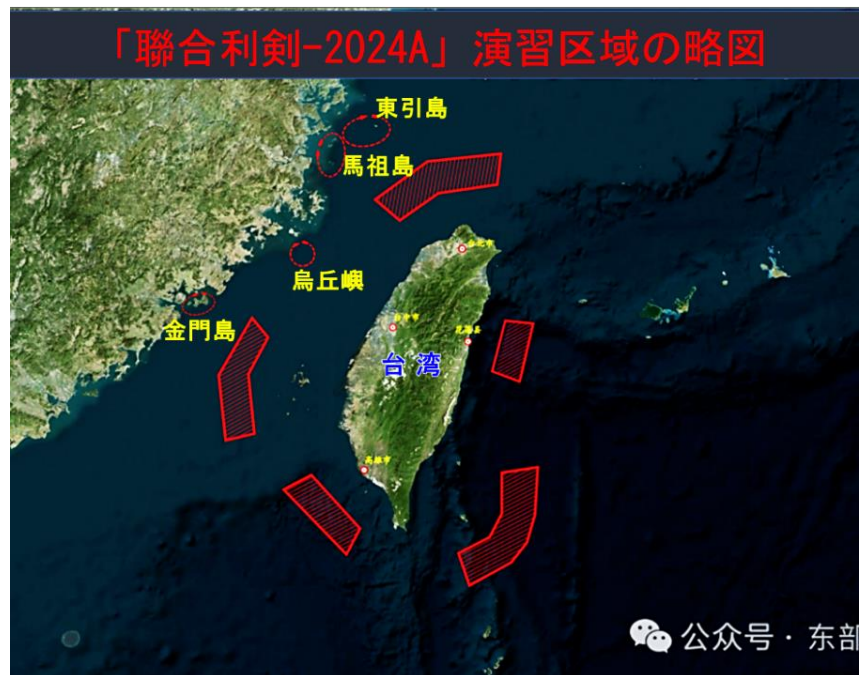
### 1 事実関係

5月23日8時45分（中国時間。以下同じ）、中国人民解放军東部戦区報道官の李熹（海軍大佐）は、5月23日から24日の間、台湾周辺において東部戦区の陸軍、海軍、空軍、ロケット軍等により「聯合利剣-2024A」演習を実施すると発表した。また、演習について、「台湾独立」分裂勢力による「独立」画策行動への懲戒であり、外部勢力の干渉と挑発に対する厳重な警告であると説明した<sup>1</sup>。

#### （1）概要

##### ア 演習開始時刻及び場所（資料源：中国軍東部戦区 Weibo 2024/5/23）

5月23日7時45分、中国軍東部戦区は、台湾海峡、台湾本島の北部、南部及び東部並びに金門島、馬祖島、烏丘嶼及び東引島の周辺において統合訓練を開始した。



出典：東部戦区 Weibo 2024/5/24

<sup>1</sup> 『東部戦区 Weibo（中国版ツイッター）』2024年5月23日。

イ 演習参加隻数・機数（資料源：台湾国防部発表資料等<sup>2</sup>）

	5月23日	5月24日
艦艇	15隻	19隻
海警船	16隻	7隻
軍用機 (台湾海峡中間線越えの機数)	49機 (35機)	62機 (47機)

※ 5月24日の艦艇と海警船の隻数は、24日6時時点のもの

ウ 確認された艦艇・軍用機・ミサイル等（資料源：2024年5月25日付香港紙『大公報』）

艦艇	052D型駆逐艦(LUYANGⅢ級)「南京(155)」、054A型ミサイル護衛艦(JIANGKAIⅡ級)の「南通(533)」及び「益陽(548)」、056型ミサイル護衛艦(JIANGDAO級)、022型(HOUBEI級)ミサイル艇、815型電子偵察船「北極星(791)」等
軍用機	戦闘機「Su-30」及び「J-16」、爆撃機「H-6K」、早期警戒機「KJ-500」等
ミサイル等	短距離弾道ミサイル「DF-15」、長距離多連装ロケット砲「PHL-191」及び「PHL-03」、対艦巡航ミサイル「YJ-18」

(2) 細部

ア 重点科目及び訓練目的（資料源：中国軍東部戦区 Weibo 2024/5/23）

海空統合戦備警戒パトロール<sup>3</sup>、戦場総合制圧権の統合奪取<sup>4</sup>、重要目標の統合攻撃等の科目に重点を置き、艦艇と航空機で協同して台湾本島に接近し戦備パトロールを実施する。この間、台湾本島と列島(馬祖列島、金門島、烏丘嶼を指すと推定)の内外での連動した活動を通じ、戦区部隊の統合作戦実戦能力を検証する。

イ 演習内容

(ア) 5月23日

23日午前8時4分、駆逐艦「南通(533)」艦が、台湾海峡の中間地点「24° 32′ 47″ N、119° 45′ 46″ E」で台湾の艦艇「937」に対し、「こちらは中国の管轄海域である。我々は戦備警戒パトロール任務を実施中である。貴方に干渉する権利はない。『台湾独立』勢力による分裂は、台湾海峡の最大の破壊である。貴方は、台湾独立のために命を売ってはならない。武力により統一を拒めば、破滅への道しかない」、「貴方が我々の行動を妨害するな

<sup>2</sup> 『軍事新聞通信社』2024年5月23日、24日、『聯合早報』（シンガポール華字紙）2024年5月23日。

<sup>3</sup> 『中国人民解放軍軍語』（中国軍の軍事用語辞典。最新の2011年版は軍事科学院作成）によれば、戦備警戒パトロールとは、「発生し得る戦争或いは軍事的突発事件に対応するために行う警戒パトロール」を意味し、「実戦を目標として、領土、領空、領海の境界で実施される」。『新浪網』2023年12月29日。

<sup>4</sup> 2024年5月28日付「大公報（香港紙）」の記事には、専門家による分析として、「戦場総合制圧権の統合奪取」は、今次演習で初めて提起されたものであり、戦場で必要な一切の制圧権を奪取することであると説明されている。これは、「制海権」、「制空権」、「制陸権」のほか、「制電磁権」、「制サイバー権」等、すべてを制圧しなければならず、各種作戦行動の遂行も含め特に重要な役割を果たすという。

らば、我々は懲戒措置をとり、台湾海峡の安全を断固守る」と呼びかけた。周辺海域では台湾の「鄭和艦」(台海海軍のフリゲート)等が活動中であった<sup>5</sup>。

また、東部戦区海軍各艦隊(駆逐艦やミサイル快速艇等で構成)は、東部戦区統合作戦指揮センターの命令を受け、多方向から高速機動し(参照:右図)、目標海域に到達後、迅速に戦闘配置に着き、主砲・副砲・ミサイルシステムによる攻撃を準備した。

各艦隊は、各方面の情報や海空の現在の態勢を踏まえて迅速に目標を定め、立体的な攻撃をシミュレートした。

これに合わせて、空軍が実弾を搭載した戦闘機等数十機を出動させ、台湾本島及び島嶼の周囲を戦備パトロールした。また、軍用機は、予定の空域に到着後、攻撃隊形を組み、駆逐艦、HOUBEI 級ミサイル艇と協同で敵の軍事目標の攻撃をシミュレートした。

同時に陸軍及びロケット軍部隊も予定区域に入り(参照:右動画)、各発射部隊は迅速に発射陣地を確保して発射準備を行い、海空突撃部隊と協同で統合攻撃科目を演練した。

23日の演練では、台湾本島北部、南部の海空域において、「対海突撃」、「対陸攻撃」、「防空・対潜水艦」の科目を演練し、協同・統合攻撃等の実戦能力を検証した<sup>6</sup>。



※出典：東部戦区 Weibo 2024/5/24

＜訓練中のロケット軍車両＞(参照：12 頁)



※出典：中央電視台 2024/5/24

<sup>5</sup> 『東部戦区 Weibo』2024年5月23日。

<sup>6</sup> 『東部戦区 Weibo』2024年5月24日。

その他、東部戦区が配信した動画には、台湾主要都市の台北、高雄、花蓮にミサイルを大量に落とすシミュレーション画面が流された。(参照:右動画)

#### (イ) 5月24日

東部戦区は台湾本島以東海域で、艦艇及び軍用機の協同で「対海突撃」、「対陸攻撃」等の科目を訓練し、戦区部隊の複数区域における協同・統合攻撃の実戦能力を検証した。

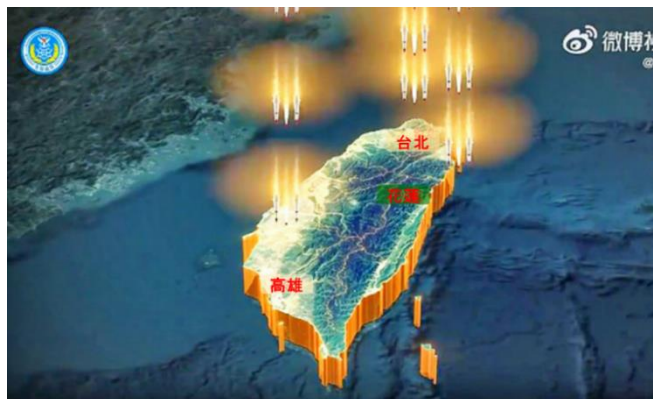
台湾周辺海域において、艦隊が高速機動して隠れて敵に近づき、戦区統合作戦指揮センターの統一指揮の下、海上目標に対する攻撃をシミュレートした。戦闘機 (J-16) 複数機が実弾を搭載して目標空域に到達し、戦闘機編隊の援護下で爆撃機 (H-6K) が進出し、台湾東部周辺海域で戦闘隊形を組み、艦隊や沿岸防備ミサイル部隊と協同して重要目標に対する攻撃をシミュレートした。東部戦区は、多方向から台湾本島に接近して台湾を包囲し、台湾側の防御空間と活動空間を狭めた<sup>7</sup>。

#### ウ 海警船の参加状況

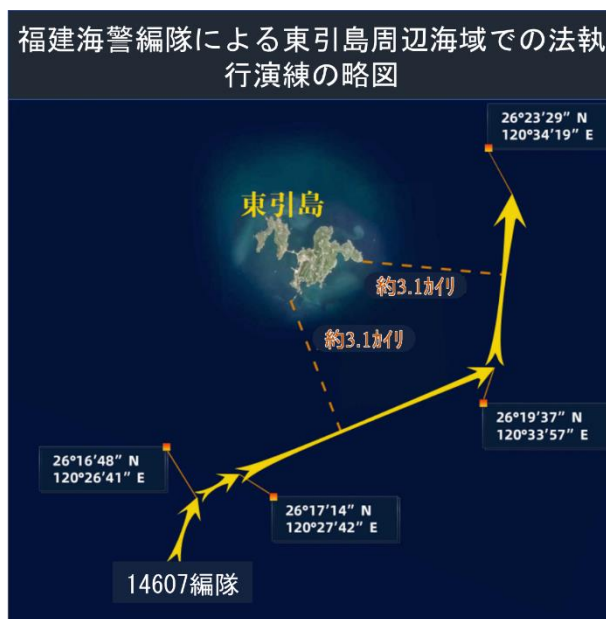
##### (ア) 5月23日

5月23日、福建海警局は編隊を派遣し、烏丘嶼、東引島周辺海域において、総合法執行演練を行い、統合パトロール、快速反応及び緊急対処能力を検証した<sup>8</sup>。

台湾海巡署<sup>9</sup>の5月23日の発表によれば、中国の「海警 14607」及び「海警 14509」の2隻が7時48分、馬祖列島の東引島の制限水域に進入した。その周囲では、「海警 14517」も活動しており、台湾は、「PP-3586」、「PP-3571」及び「PP-10037」を派遣し、8時53分に制限水域から追い出した。



※出典：東部戦区 Weibo 2024/5/24



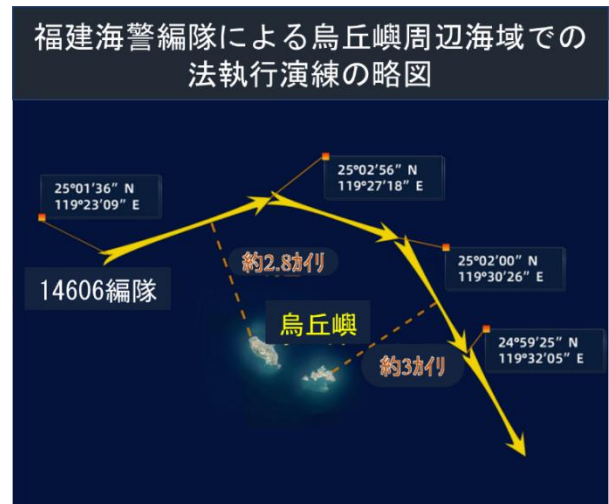
※出典：『中国海警局 H.P.』2024/5/23

<sup>7</sup> 『環球時報』2024年5月25日。

<sup>8</sup> 『中国海警局 H.P.』2024年5月23日。

<sup>9</sup> 日本の海上保安庁、中国の海警に相当

同じ時間帯、烏丘嶼周辺海域では、「海警 14606」及び「海警 14506」の 2 隻が制限水域に進入した。その周囲には「海警 14502」も活動しており、台湾は「PP-10039」及び「PP-10035」を派遣し、8 時 45 分に烏丘水域から追い出した<sup>10</sup>。



※出典：『中国海警局 H.P.』 2024/5/23



※出典：Google Map を基に筆者作成

### (イ) 5月24日

5月24日、海警 2304 編隊が、台湾本島以東の海域で総合法執行演練を実施した。確認・識別、警告・追い払い等の科目の訓練を重点的に行い、統合パトロール、緊急対処能力を検証した<sup>11</sup>。

また、5月26日付「海洋装備と公務船資訊」<sup>12</sup>によれば、24日に台湾本島以東で活動した海警 2304 編隊は、「海警 2304」を始め「海警 2303」、「海警 2305」及び「海警 2204」から編成されていた。

<sup>10</sup> 『海洋委員会海巡署 H.P.』 2024年5月23日。

<sup>11</sup> 『中国海警局 H.P.』 2024年5月24日。

<sup>12</sup> 主として中国の海警船に係るニュースを取り上げている Weibo(中国版ツイッター)

## 2 コメント

### (1) 全般

中国の国務院台湾事務弁公室(中国政府の台湾政策担当部署)報道官は5月21日夜、前日20日の頼清徳氏の総統就任演説<sup>13</sup>について、「敵意と挑発、虚言と欺瞞に満ちている」、「徹頭徹尾『台湾独立の自白』である」等のコメントを發表し、強く非難していた。その2日後23日、中国国防部はこの演習について、「台湾独立」勢力による台湾独立の画策への「懲戒」であると表現した。こうしたことから今次演習は、5月20日の頼清徳の総統就任演説を受けて実施されたと言える。

#### <過去2回の演習との比較>

	環台湾軍事演習	「聯合利劍」演習	「聯合利劍—2024A」演習
時期	○7日間: 2022/8/4~8/10	○3日間: 2023/4/8~4/10	○2日間: 2024/5/23~5/24
背景	○ペロシの台湾訪問 ペロシは8/2深夜着 中国軍は8/2夜、8/4 12:00から予定海空域で 軍事訓練や実弾射撃を 実施すると発表	○蔡英文とマッカーシー 下院議長の会談 日本時間4/6未明、ロサ ンゼルス郊外で実施。 4/7夜、蔡英文帰国 4/8朝、演習を発表	○頼清徳の5/20の総統就 任演説 中国軍は5/23 08:45、 演習を開始したと発表
演習区域 及び内容	・台湾北部、南西及び 南東の海空域において、 海空統合訓練 ・台湾海峡において、 長距離ロケット砲実弾 射撃訓練 ・台湾東部海域に向けて 短距離弾道ミサイルの 発射訓練	・台湾海峡、台湾北部、 南部及び台湾以東の海空 域において、台湾周囲戦 備警戒パトロールや演習 を実施 ・平潭島長江澳(砂浜)及 び羅源湾海域で、実弾射 撃訓練	・台湾海峡、台湾北部、 南部及び東部において、 戦備警戒パトロールや重要 目標の攻撃をシミュレート ・金門島、馬祖島、烏丘嶼 及び東引島で、海警船が 法執行演練を実施
初日の 航空機と 艦艇の数	・軍用機68機。内、49機が 台湾海峡中間線を越境 ・艦艇13隻	・軍用機71機。内、45機が 台湾海峡中間線を越境 ・艦艇9隻	・軍用機49機。内、35機が 台湾海峡中間線を越境 ・艦艇15隻 ・海警船16隻
実弾種類 及び範囲	・台湾周辺6か所に海域を 設定し、長距離ロケット砲 を実弾射撃 ・弾道ミサイル4発が、 台湾上空を通過	・福建海事局は実弾射撃 に伴う航行禁止海域の 設定を発表 ⇒台湾海峡や関連の海域 で砲弾射撃 ・弾道ミサイルの発射なし	・中国海事局による軍事演 習に伴う航行禁止海域の 設定なし ⇒海域での砲弾射撃なし ・陸上では、ロケット砲発射

※『聯合早報』2023/4/9等を基に筆者作成

<sup>13</sup> 頼総統は、「中華民國と中華人民共和国は相互に隷属しない」と訴え、台湾と中国の正式名称を用いて、双方が対等な関係であると主張した。『JIJI.COM』2024年5月22日。

過去2回の演習と比較するならば、2022年8月は弾道ミサイルが台湾本島の上空を通過して他国のEEZに落下し、2023年4月は台湾海峡や周辺で砲弾射撃が行われたのに対し、今回は期間も短く、中国海事局による航行禁止海域の設定もなく陸上でロケット砲の発射があったのみで総じて低調であったと言えよう。(参照:6頁<過去2回の演習との比較>)。

他方、今回は海警船が参加した点が新しく、そこに意味があったと言えよう。この点については、以下後述する。

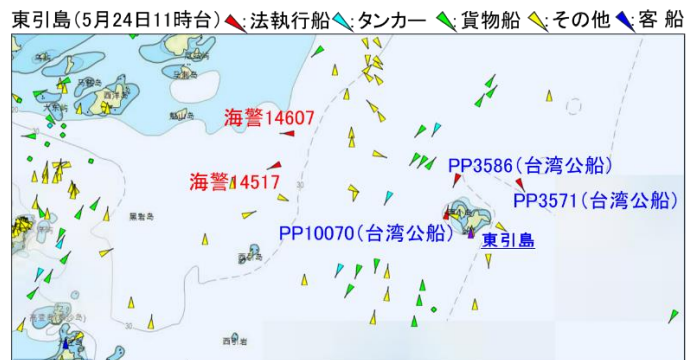
また、今次演習に関して、中国の国防大学評論員の孟祥青(Meng Xiangqing)<sup>14</sup>は5月24日、中国国営の中央テレビ局の電話取材に対しその注目点として、台湾本島東部における兵力配置を挙げた。その理由は、東部戦区の海空統合部隊による海上及び陸上に対する突撃演練や攻撃シミュレーションは、中国軍が多方向にある港湾や飛行場等の重要目標物を同時に攻撃したり、太平洋方面からの来援部隊を台湾東部で阻止する能力を備えていることを表明し、台湾周囲に死角がないことを示すものであったからという<sup>15</sup>。

孟氏の指摘のとおり、台湾本島東部での来援阻止訓練等は、米軍や周辺国に対する警告の意が込められていたとも捉えられる。

## (2) 海警船の参加状況

今次演習は、過去2回の演習とは異なり海警船が初めて参加しており、訓練目的として台湾本島と列島(馬祖島、金門島、烏丘嶼)の連動による戦区統合作戦実戦能力の検証を掲げたように、台湾本島周辺海域での中国軍の活動に合わせ東引島や烏丘嶼の周辺海域では海警船により訓練が実施されたことが確認された。

また、AIS情報によれば、台湾公船が警戒する外側で海警船が所在している状況が確認できた。



※ AIS 情報 (中国の港口ネット船舶追跡) を基に筆者作成



※ AIS 情報 (中国の港口ネット船舶追跡) を基に筆者作成

<sup>14</sup> 国防大学教授。第14期中国人民政治協商会議全国委員会委員。少将。

<sup>15</sup> 『環球網』2024年5月25日。

他方、中国海警局が発表した動画には、海警船の後方にHOUBEI 級ミサイル艇が確認されたことから、ミサイル艇との協同訓練も実施したとみられ、海警船による法執行パトロール実施中にはミサイル艇が控えていることをほのめかすものであったと捉えられる。



出典：『中国海警局 H.P.』 2024/5/23

加えて、演習期間中、台湾東部海域でも海警船により法執行演練が実施されており、中国海警局が5月24日に発表した動画では、ボートで臨検に向かう様子や放水する場面も確認された。



出典：『中国海警局 H.P.』 2024/5/24



出典：『中国海警局 H.P.』 2024/5/24

台湾東部海域における海警船については、本年2月27日にも「海警 2303」、「海警 2304」及び「海警 2305」が台湾東部海域(花蓮港の東方約98km)で活動したと台湾紙「中国時報(3月5日付)」により報じられていたが、中国海警局による正式の発表は、今回が初であった。このことについて、5月25日付「環球時報」(中国共産党機関紙「人民日報」のタブロイド版)には関係者の話として、海警総隊が台湾本島の周辺海域においても法執行を開始することを意味するものであり、臨検が訓練されたということは、台湾当局が当該海域のコントロールを完全に失うことを意味するとの説明が紹介された。海警総隊は、本年2月14日に金門島海域で台湾当局の取締りで中国漁民2名が死亡したことを機として、金門島に加えて馬祖列島の周辺海域で海警船による法執行パトロールを常態化させた(参照：9～11頁)が、台湾本島の周辺海域でも法執行を開始することを表明したものと捉えられる。

しかも、今回台湾東部海域で訓練した「海警 2304」編隊は、上述のとおり「海警 2304」を筆頭にして、「海警 2303」、「海警 2305」及び「海警 2204」で編成されていた<sup>16</sup>とみられるが、「海警 2204」を除く3隻は、054A型ミサイル護衛艦(JIANGKAI-II級)をベースにした

<sup>16</sup> 「海洋装備と公務船資訊 Weibo(中国版ツイッター)」2024年5月26日。

「818 型艦(3,000t 級)」であり、76mm 砲を搭載した武装船である<sup>17</sup>。また、「海警 2204」も「718B 型艦(2,000t 級)」で 76mm 砲を搭載しており<sup>18</sup>、4 隻すべてが 76mm 砲を搭載した武装船であったことになる。

つまり、中国側は頼清徳氏の総統就任演説を口実として、海警船による活動範囲を台湾の離島だけでなく台湾本島周辺にまで拡大させたのである。こうした海警船による活動拡大は、習近平主席が 2023 年 11 月 29 日に上海市の武警海警総隊東海海区指揮部を視察<sup>19</sup>して以降顕著であることから、この指示にのっとったものである可能性がある。

今回の演習は過去 2 回と比較して低調であったが、台湾を取り巻く状況は静かに変化しており、中国側は海警船による法執行活動を積み上げて着々と現状変更を進めようとしていると言えよう。

中国国防部報道官は 5 月 30 日の定例記者会見で、「『台湾独立』分裂勢力が挑発する度に中国軍の対応も一歩進み、祖国の完全統一の実現に至る」と発言し、「聯合利剣-2024A」に続き、台湾側の動向次第では「聯合利剣-2024B」、「聯合利剣-2024C」もあり得るとのメッセージを発した。したがって、中国側は、台湾側の動向次第で再び挑発されたと受け止め、それを口実として、軍や海警船による活動を拡大、活発化させる可能性は十分にあるだろう。

< 2 月 > 凡 例： ★艦砲搭載船、■金門島海域所在、■馬祖列島海域所在

2024年2月	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29
2103★(30mm)																													
2202★(37mm)																													
2203★(37mm)																													
14608★(30mm)																													
14609★																													
14512																													
14513																													
14514																													
14515																													
海監8029																													
14501																													
14509																													
14510																													
14522																													
13522																													
14607																													
14605																													
海監8001																													

※ AIS 情報（中国の港口ネット船舶追跡）、2016 年 11 月 3 日付「人民日報」等を基に筆者作成

<sup>17</sup> 『人民日報』2016 年 11 月 3 日。

<sup>18</sup> 『人民日報』2016 年 11 月 3 日。

<sup>19</sup> 『解放軍報』2023 年 12 月 1 日。

< 3月 > 凡例：★艦砲搭載船、■金門島海域所在、■馬祖列島海域所在

2024年3月	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	
2101																																
2201★(37mm)																																
2202★(37mm)																																
2203★(37mm)																																
14608★(30mm)																																
2304★(76mm)																																
14515																																
14519																																
14604																																
14606																																
14609																																
14513																																
14521																																
14056																																
14058																																
14064																																
14079																																
14603																																
14517																																
14605																																
14607																																
14503																																
14507																																
14501																																
13516																																
海監8002																																
海監8001																																
漁政35129																																
海監203																																

※ AIS 情報（中国の港口ネット船舶追跡）、2016年11月3日付「人民日報」等を基に筆者作成

< 4月 > 凡例：★艦砲搭載船、■金門島海域所在、■馬祖列島海域所在、■東沙諸島海域所在

2024年4月	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	
2204★(76mm)																															
2101																															
2201★(37mm)																															
2203★(37mm)																															
14608★(30mm)																															
2303★(76mm)																															
2304★(76mm)																															
2305★(76mm)																															
2306																															
14507																															
14519																															
14603																															
14604																															
14609★																															
14515																															
14513																															
14521																															
14501																															
14503																															
14509																															
14511																															
14517																															
14605																															
14607																															
3303																															
海監203																															
海監8002																															
海監8001																															
PP3571(台湾)																															
PP3505(台湾)																															
PP10070(台湾)																															
PP10083(台湾)																															
PP10073(台湾)																															

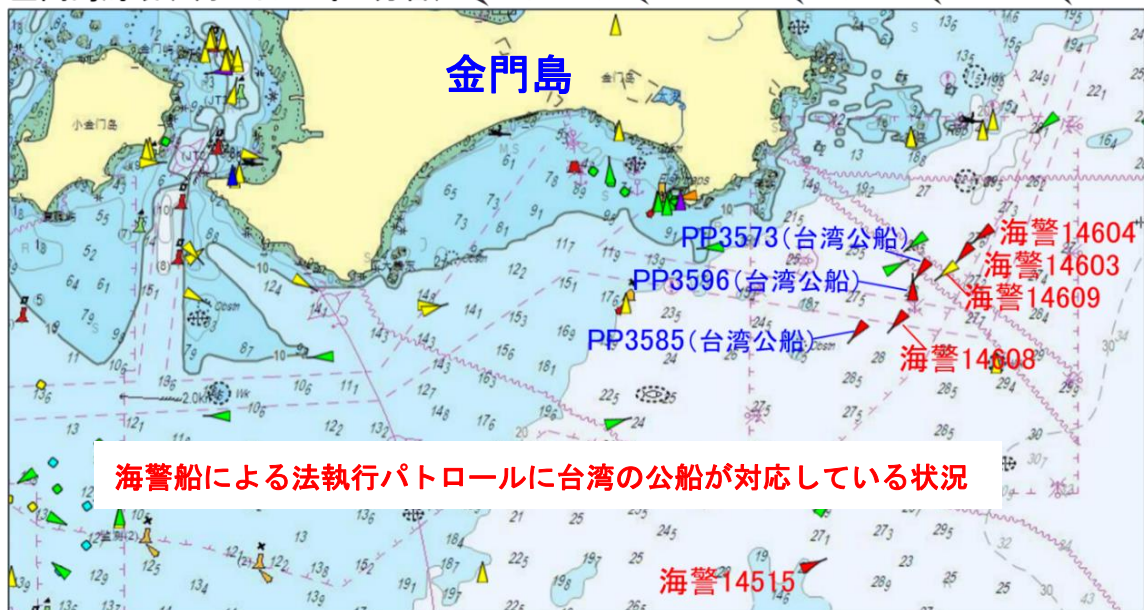
※ AIS 情報（中国の港口ネット船舶追跡）、2016年11月3日付「人民日報」等を基に筆者作成

< 5月 > 凡例：★艦砲搭載船、■金門島海域所在、■馬祖列島海域所在、■烏丘嶼海域所在

2024年5月	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	
2101																																
2202★(37mm)																																
2103★(30mm)																																
14608★(30mm)																																
14604																																
14512																																
14513																																
14515																																
14603																																
14606																																
14609																																
14520																																
14521																																
14511																																
海巡06																																
海監8002																																
14517																																
14605																																
14607																																
14503																																
漁政35108																																
14506																																
14507																																
14509																																
海監203																																
海巡1660																																
PP3505 (台湾)																																
PP3573 (台湾)																																
PP3578 (台湾)																																
PP3585 (台湾)																																
PP3596 (台湾)																																
PP10083 (台湾)																																
PP10079 (台湾)																																
PP3586 (台湾)																																
PP10070 (台湾)																																
PP3571 (台湾)																																
PP10037 (台湾)																																

※ AIS 情報（中国の港口ネット船舶追跡）、2016年11月3日付「人民日報」等を基に筆者作成

金門島海域(5月31日10時20分台) ▲:法執行船 ▲:タンカー ▲:貨物船 ▲:その他 ▲:客船



※ AIS 情報（中国の港口ネット船舶追跡）を基に筆者作成



※出典：Google Map、Google Earth、5月25日付 X(Joseph.W 約瑟)等を基に筆者作成

【研究者紹介】千綿 るり子(防衛戦略研究室員)

博士(安全保障)。2015年3月、拓殖大学国際協力学科安全保障専攻博士課程修了、博士論文「中国人民武装警察部隊に関する研究—武警部隊と解放軍の関係と将来像—」。専門は中国の準軍事組織(中国人民武装警察部隊、海警、海上民兵等)や中国の宇宙開発等。著書(共著)に2008年 茅原郁生「中国の軍事力—2020年の将来 予測—」蒼蒼社。

本リサーチメモにおける見解は、航空自衛隊幹部学校航空研究センターにおける研究の一環として発表する執筆者個人のものであり、防衛省又は航空自衛隊の見解を表すものではありません。